

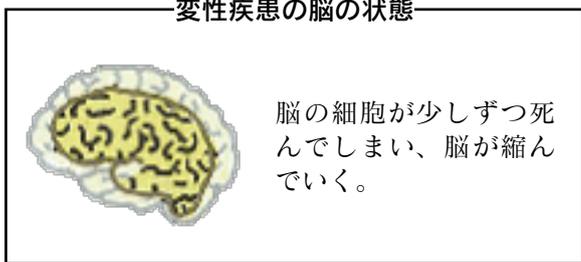
認知症とは？

認知症とは、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしたために様々な障害が起こる状態です。

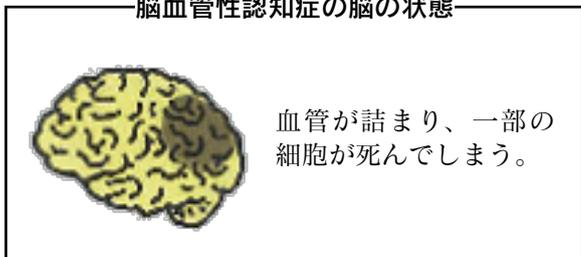
認知症を引き起こす病気のうち一般的なのは、脳の神経細胞がゆっくりと死んでいく「変性疾患」と呼ばれる病気です。アルツハイマー病などがこれにあたります。

次に多いのが、脳の血管が詰まったり破れたりすることで起こる「脳血管性認知症」と呼ばれる病気です。脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などのために引き起こされます。

変性疾患の脳の状態



脳血管性認知症の脳の状態



認知症の症状は？

認知症の症状は、「中核症状」と「行動・心理症状（BPSD）」の大きく2つに分けられます。

■中核症状

脳の細胞が死んでしまうことにより直接起こる症状です。記憶障害、見当識障害、理解・判断力の低下、実行機能の低下などの症状が出ます。

たとえばこんな症状が…

- 記憶障害
覚えられない、すぐ忘れてしまう
- 見当識障害
月日や年月、場所、人がわからなくなる
- 理解・判断力の低下
考えるスピードが遅くなる
- 実行機能の低下
2つ以上のことが重なりと理解できなくなる
日常生活に必要な作業がこなせなくなる

■行動・心理症状（BPSD）

中核症状から発展するもので、うつ状態や妄想のような精神症状や、日常生活での問題行動などが起こっている状態です。本人の性格、環境、人

間関係などさまざまな要因がからみ合って発症します。

たとえばこんな症状が…

- 自信を失い、すべてが面倒に
- 将来への望みを失ってうつ状態に
- トイレの失敗
- 道に迷って家に帰れなくなってしまう

■ 年相応のもの忘れと認知症のもの忘れの違い

認知症のもの忘れ

お昼ご飯
食べたっけ？



▲ 食事したこと自体を忘れてしまう。

年相応のもの忘れ

お昼ご飯は何を
食べたっけ？



▲ 食事したことは覚えているが、何を食べたか思い出せない。